平成 24 年 4 月 3 日

各　　位

会 社 名　第一稀元素化学工業株式会社
代表者名　代表取締役社長　井上　剛
（コード番号４０８２　東証第二部）
問合せ先　取締役総務部長　寺田　忠史
TEL.（０６）６６８２－１２６１

平成２４年３月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 24 年 1 月 27 日に発表いたしました業績予想の修正につき下記のとおりお知らせいたします。

記

１．平成 24 年 3 月期業績予想の修正（平成 23 年 3 月 21 日～平成 24 年 3 月 31 日）

	売　上　高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 40,000	百万円 4,400	百万円 4,400	百万円 2,600	円　銭 541.80
今回修正予想（B）	39,000	△4,800	△4,800	△4,800	―
増減額　（B－A）	△1,000	△9,200	△9,200	△7,400	
増減率（%）	△2.5	―	―	―	
（ご参考）前期実績 （平成 23 年 3 月期通期）	23,882	2,804	2,786	1,790	374.40

２．業績予想の修正理由

当社製品の主要原料であるレアアースは、昨年夏に価格がピークアウトし、調達不安も比較的やわらぎました。この結果、顧客の在庫調整のための買い控えの動きにより販売数量が減少し、製品在庫が急増しました。当社は、第４四半期に入り、在庫圧縮のため大幅な生産調整を行い、それに伴い原料の購入も大きくペースダウンさせましたが、この間にも原料の市場価格は更に低下しました。このため、原料在庫の平均購入単価と市場価格には大きな乖離が発生し、レアアースの中でも生産が当面中国に限定される元素については、戦略的に長期間の在庫を保有していたことから、より多額の含み損が発生することになりました。当社は、原料在庫の平均単価に基づき四半期毎に販売価格を改定し、価格変動リスクを取らない方針としているため、当社製品の価格も高止まりの状態にありますが、顧客との信頼関係を維持し、今後の持続的な成長のためには、原料在庫の時価との乖離分を全て製品の販売価格に転嫁することはできないと判断し、期末在庫価格の洗替えによる損失と引当金で約 9,000 百万円を当四半期会計期間において計上することといたしました。これにより、平成 25 年３月期以降は大幅な評価損の発生を回避し、安定した収益と営業基盤を確保できる見込みであります。

３．配当予想について

配当予想につきましては、平成 24 年 1 月 27 日に発表いたしました内容から変更はありません。

（注）上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであります。予想には様々な不確実要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と大きく異なる場合があります。本内容を大きく修正する場合は、改めて速やかに開示いたします。

以上